



# 荻中通心

## 体育発表会を終えて

行事担当 野口 正明

晴天にも恵まれ、今年度の体育発表会を無事に終えることができました。ご来場くださった保護者の方々、地域の皆様、どうもありがとうございました。

当日は私たち教職員も生徒と一緒に盛り上がり、熱い時間を過ごすことができ、心から嬉しかったです。そして、生徒の元気溢れるパワーを感じるとともに、そのがんばっている姿には、周りに感動を与える素敵なお力があることを改めて実感しました。

当日を迎えるまで、それぞれのクラスではさまざまな課題があり、さまざまな想いがぶつかることもありました。それでも、体育発表会を自分達の手で成功させようと、作戦を考え、練習し、振り返り、改善策を考え、更に練習を繰り返す生徒たちを通して、段々とクラスがひとつになっていく様子を見ることができました。まさに、生徒一人ひとりが『みんなで協力して体育発表会を創る』ことができたのではないのでしょうか。

この体育発表会を通して、生徒達に折に触れて話していたことが二つあります。

一つ目は、『仲間と協力すること』です。

何かを成し遂げるとき、多くの場面で『仲間の力』が必ず必要になります。一人だけの力で頑張ることも時には必要ですが、困った時や辛い時はみんなで手を差し伸べ合って、協力できる人、集団であってほしいという思いを込めています。

二つ目は『感謝の気持ちを持つこと』です。

当日を迎えるまでに、委員会で動くクラスの仲間や、縦割りの先輩、後輩、家族など、多くの人の支えがありました。そういう人たちがいてくれたからこそ『自分たちが思い切って体育発表会を楽しむことができた』ということに気づき、感謝の気持ちを持つことができる人でいてほしい、また、これからの日常生活でも感謝の気持ちを大切にしていってほしいということです。

生徒たちにはこの行事で培った団結力を今後の学校生活にいかし、皆が安心して楽しく生活でき、高めあうことができるクラスを創ってほしいと考えております。

今後とも、温かい目で生徒達の成長を見守っていただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

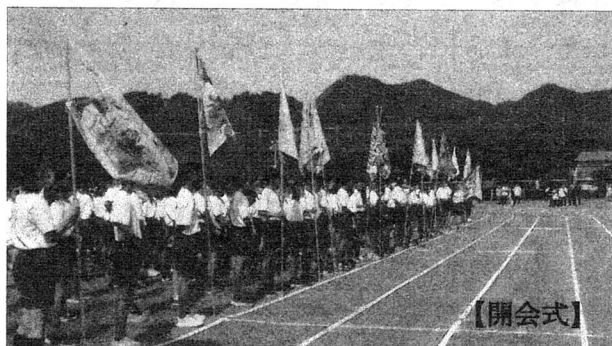


◆開会式：生徒会長のことば（一部抜粋）

今年の体育発表会は、新型コロナウイルスでの活動制限が解除されたことにより、約3年ぶりとなる例年通りの形での開催となります。生徒のみなさんは、このことを当たり前と思わず、体育委員会をはじめ、体育発表会を成功させるために努力をしてくれたたくさんの人たちがいることを忘れないでください、そして、感謝の気持ちを全力で体育発表会に臨む姿勢で表現しましょう。

◆閉会式：実行委員長のことば（一部抜粋）

どの学年、どのクラスも一生懸命にがんばっていて、すばらしいな、と思いました。特に、3年生には、きっと大切な思い出がまた一つ増えたと思います。みなさん、今日は本当におつかれさまでした！



【開会式】



【選手宣誓】



【1学年種目：キャリーボール】



【2学年種目：心技体～瞬間、心、重ねて～】



【3学年種目：台風一過～旋風のあとの笑顔のために～】

